

すっぽんぽんで若い男女入り乱れ！

本能とカラダを全開にさらけ出す○学生仲良しクラス
メイトの男子生徒4人と専門学校へ通うお姉さん5人

貸し切り状態の田舎の混浴露天風呂でセックス盛りの
見知らぬ男と女が出会い、果たしてどこまで自由に大胆に
乱交が出来るのだろうかっ！？

第四話

「そ、そうですか・・・なんか恥ずかしいやっ・・・へへ
っ・・・」

誰に教わったわけでもない。

タイムマシーンで未来を先に見てきたわけでもない。
だけど、

本能とは不思議なもので・・・。

「いいのよお恥ずかしがらなくてっ・・・あたしたち年上のお
姉さんを見て股間隠してるんでしょっ??それってなんだか悪い
なって思うのっ」

少年たちは、自分たちがこれから、それもすぐ手の届きそうな
位置にある近未来に・・・。

「あっ・・・ああ、そ、そうですか・・・」

これまで体験したことのなかった未知へと続く扉が音を立てて
一気に崩れてしまうような**すっごい状況**が待っているっ！！

少年たちは秒を追うごとにひしひしとそう感じ取っていた。

当然少年たちの“性的期待”による勃起が収まるはずはなく・・・。

ほとんど無駄な努力と言ってもいいような、手で強引に押さえつける股間は、もはや制御不能。

「そんな薄っぺらいタオル取っちゃえ！！ほらほらあっつ！！」

積極的なお姉さんたちはどんどん少年たちを押し、新たな世界へと誘導する。

まるで**何も知らない裸の赤子**の手を引っ張る**天使**のように。

多数派を傘に着ているわけでは決してない。

例え3人でも、いや2人でも同じ、つまり彼らを逆ナンしていたであろう・・・。

それだけ彼女たちは強く求めていた。

「はーずーかーしーがらないのっっ！！ほおらっ！！」

「えっ！！・・・い、いや・・・あっ！！??」

ついに！！

強引に優里香が一番近い場所に立っていた幸也のタオルを右手でめくって、そのままはぎ取ってみせた。

ビィーーンッ！！

小さなタオルの陰から出てきたのは、もはや隠し通すことは不

可能なくらいに巨大化した童貞ズル剥けペニスだった。

体験版はここまでです。

もし内容を気に入っていただけましたら、
続きを製品版でお楽しみいただけますと光栄です。